

会 議 録

会議の名称	第4回 第4期西東京市子ども読書活動推進計画策定懇談会
開催日時	令和2年10月8日(木) 午後2時から4時
開催場所	田無第二庁舎 4階 会議室3
出席者	宮川委員 島委員 鈴木委員 長谷川委員 飯野委員 高木委員 山本委員 鎌田委員 今西委員 渡邊委員 八藤後委員 (欠席)長峯委員 事務局 徳山副館長 安中主任
議 題	1 第3回会議録の修正について 2 計画策定の基本理念について 3 読書活動推進のための基本方針について 4 「はじめに」について 5 乳幼児を対象とした取組について 6 小学生を対象とした取組について 7 今後のスケジュールについて
会議資料の 名 称	参考資料 計画策定の基本理念 読書活動推進のための基本方針 「はじめに」 乳幼児を対象とした取組 小学生を対象とした取組
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

1 第3回会議録の修正について
確認。修正なし。

2 計画策定の基本理念について

座長 前回意見が出たところを書き直し4番目の項目を新しく加えた。「多様化するメディア状況～見失わない子ども」と仮に書いたが、言い方が消極的なので「メディアを適切に使いこなすとともに～将来像を見出す子ども」としてみた。その後の「自分らしく生きていく」というのと重複している気がする。ご意見をいただきたい。

委員 5番目の項目「自分らしく生きていくこと」と同じ表現が重なっているのが気になる。

座長 前の方で「自分らしい自分」と言っているので、後の方の「自分らしく」を削り重複感を避ける。

3 読書活動推進のための基本方針について

座長 基本方針もこのままでよいか。修正なし。

4 「はじめに」について

委員 館長の原案を配布した。最後の4行は3期にはなかったもので、判断は委員会へお任せするとのことである。他に書き換え等あれば連絡をとることだった。

座長 校正に関わるころはいかがか。

副座長 最後の4行についてだが「心から感謝申し上げます」は不要と思う。「本計画を実現～」は入れてもよい。「パブリックコメントを～」も不要と思う。

座長 最後の部分で他にご意見はあるか。身内に挨拶は不要だが、最後は入れておくか。「皆様」は「市民の皆様」とする。他にはあるか。

副座長 3段目、「子どもにとっての読書は言葉を獲得し～」というところだが、言葉がいろいろな働きをするという中に、もっと論理的、知的な能力も高めるということが含まれていない気がする。このままでは言葉の力が考えていく方よりイメージネーションの方に偏っている。そういうものだけが読書ではない。もう一点「1人1台のタブレット端末～」の箇所は、友だちに限らず、人間とか人同士のことかと思う。この計画自体、いろいろなところで本と出会っていこうという計画なので、図書館との関係という書き方だとイメージが違う。

委員 真ん中の段で「夢や希望を持って参加していく～」に変えたほうが伝わる。

委員 4段落目「その一方で、スマートフォン～」というところで「長時間画面と向き合う生活」というのが身体的弊害のように取られる。情報にさらされているというようなことをこの読書活動推進計画の中では言いたいと思ひ違和感があった。

委員 最初の段落で「予測困難な社会の変化に～」の部分が長すぎる。最終的に「生きる力を高めていきます」の主語が誰なのかわかりにくい。次に3段落目「子どもにとっての読書は、言葉を獲得し、想像して」のところだが、想像力ということか。「想像して」の主語も誰なのかわかりにくい。論理的な読みについては、そのあとの「生活していく上ではどの情報が最適なものを～」というところに関わると思っただが、論理的な思考を育てるとかになれば、「生活していく上で」と限定されてはいるが理解しやすい。最後に「友だちや図書館との～」は並列するには違和感があった。この文章も長く、やさしい日本語で書いていただけると読みやすい。

座長 1行目「取り組みます」とあるが、すでに取り組んでいる。「取り組んでいます」か「取り組んできました」か。次のセンテンス、「子どもたち」が主語ではないか。とすると、「生きる力を高めていきます」という最後がブレる。3段落目、

感性だけが強調されるのではなく、論理的思考を育てるということも言葉の獲得によって、一緒に行われることだから、含めてほしい。「夢や希望を持って」がどこにかかるとか。4段落目、「スマートフォンなどで長時間画面と向き合う」でもいいのではないかと。センテンスが長くて読みづらいので、短いセンテンスを重ねる形にしてほしいという要望を館長に伝えてほしい。

委員 今ご指摘いただいたところを館長に伝える。

委員 計画書だと、市長とか教育長、図書館長というのが下に着く。

座長 今回は、図書館長の名前を入れてもいい。決まりはあるのか。

委員 子ども読書活動推進計画には今まで入れてこなかった。最後の一文がある場合、付けないと誰がという点で座りが悪い。

委員 最後の一文を生かすのであれば、記名が必要と伝える。

5 乳幼児を対象とした取組について

副座長 <乳幼児について>を前書きとして起草委員会の方で形にしたので、ご確認いただきたい。前回の3期と変わったところは「子どもが文字に関心を持ち読めるようになって～」が3期よりも丁寧になったかと思う。基本的には3期を踏襲した形になっている。後は、会で話したところを図書館でまとめていただいた。図書館のところ(1)③、手遊び、わらべうたの講座の実施のところ「保護者が家庭でも気軽に出来るような～」の箇所「出来」はひらがな、ということだったが。

委員 修正する。

副座長 事前に配布しているので、ご覧いただいていると思うが、何かあればここで最終確認をして終了としたいが、特に保育園の先生、児童館の先生どうか。

委員 前回、委員の方から保育園の表記は正式には「保育所」ではないかと指摘があったので調査してきたが、市内では名称はほとんど「保育園」を使っている。

副座長 市内の保育園は全て、基本的に公設でも私立でも保育園。法的なことではなく、子ども読書活動の方では市内の呼び名がこれだからということで、1期からずっと保育園で通していると思うが。

委員 1期と2期は注記のような形で保育所(園)と表記。3期で保育園のみになった。

座長 最初の保育園に※をつけて「法的には保育所となっているが、市内の呼び名に合わせて保育園としている」としてはどうか。

委員 質問した者だが、保育園で良いと思う。

委員 今回の記録は残しておいて経緯がわかるようにしておく。

座長 必要なら「市内の通称に従った」と入れればよい。

副座長 他に児童館のところはどうか。特に継続の③だが、書いてもらったものよりもシンプルな形に言葉を直させてもらった。「市民のボランティアの活動の場」と書いてあったが活動の場を提供することが目的ではないということで、図書館の書いているような協力と連携で意味は通じるかと思うがどうか。

委員 児童館の役割として地域の方の活動場所の提供の意味合いはあるので、そういう意味で最初書いたが、こちらの方がシンプルで良い。

委員 ③のところだが、地域のおはなしサークルボランティア「と」の協力と連携「と」が起草ではあったかと。

委員 追加する。頭出し・本文とも入れる。

委員 保育園の(1)②は貸出し絵本コーナーの充実で良いか。

委員 言葉として「貸出し絵本コーナー」というのが一番通っている名称か。

委員 どの保育園でも「貸出し絵本コーナー」となっている。簡単な本棚ではある。

委員 ②地域のおはなしボランティアとの協力と連携の中の、絵本等を通してという言い方をしているが、これは絵本の読み聞かせ等をという認識でよいか。

委員 絵本の読み聞かせをしてくださっている。

委員 文章は「絵本の貸出し絵本コーナーを充実させ、あわせて絵本便り等を定期的に発行する」と変更でよいか。(2)②は、絵本の読み聞かせを通して、とする。

座長 今のところだが、絵本を抜いて「素話、手遊び、読み聞かせなどを通して」ではどうか。読み聞かせは幼年文学や詩など絵本に限らないはずなので、活動名は読み聞かせだけでいい。

委員 (2)②の「通して」が2つ繋がるので「協力と連携により」などではどうか。

委員 保育園の(1)②後半部分「親子共に～」だが、「持てる取組」というのがピンと来ない。多分親子が絵本に興味を持ってもらえるようなことだと思うが。

委員 借りていく方の中でも、「自分で借りたのだから、自分で読みなさいよ」という方もいる。できたら絵本はどんなに大きくなって、膝の上に載せなくても一緒に読むのがいいと思うので、ぜひ一緒に読んでいただきたい。そうすることで親子の関係が変わってくることもある。いい言葉があったら、教えてほしい。

委員 「絵本に興味を持てる」の方が座りがいい。

座長 「親子と一緒に絵本に興味を持てるような取組をします」ではどうか。今の部分は、乳幼児の前文「子どもが文字に関心を持ち、読めるようになって」に関係がある。幼い子にとっては、文字は抑圧なのだというのをもう少しはっきり言った方がいいのかもしれない。言語規範の中に文字を通して入っていくのだから大変なことだと言いたい。そこをもっと強調してもいいかもしれない。

委員 文字に関心を持つ子は、とても楽しく関心を持つ子もいる。それを否定するものではないが、読んでもらう楽しさ、一緒に読む楽しさは絶対にあるのでどう表現するか。

座長 子どもが育つということは、両方のことがある。

委員 「覚えるな」と言っても、覚える子どももいる。無理に教える必要はない。

副座長 <乳幼児について>に、何かもう少し一言でも盛り込めるといい。

委員 <乳幼児について>の2番目の段落の「子どもが文字に関心を持ち～」を2つぐらいに分けて、耳からの読書が大切なことを伝えますということと、読んでほしいと言った子には、読んであげるということをここでもう少し足して、ここで謳ってみてはどうか。

副座長 読んでほしいと言えない子もいるかもしれない。

座長 「もう読んでくれなくていい」と言われるまで読む。

委員 読んでほしいのだけれど、「あんた読みなさいよ」と言われたら、「じゃあ、読まなきゃ」と思ってしまう子もいる。

委員 1歳の子が「ママ、抱っこして」と言っても「あなた、歩けるから歩きなさいよ」と言われるのと一緒である。本を借りるとはどういうことなのかを、まず「この本を読みたい」「この本を読んでほしい」というところまで思っただけでもいいなあと思って、絵本便りを作っている。

委員 子どもは「読めるでしょ」と言われると「読んで」と言えないと思う。

委員 保育園はぼろぼろの本が並んでいたが、すごく楽しい場所だったというイメージがあり、そのような温かさが絵本貸出しコーナーにある。絵本を楽しむということを伝えてはどうか。

座長 どんな子でもやがて自分で読むようになってしまう。一緒に読んだ時間がどれだけかけがえのない時間かが後で分かるのだが。

副座長 今、話していただいたことから<乳幼児について>は、また考えさせてほしい。次に、児童館は何かあるか。

委員 児童館の(1)②「環境を整えます」が、固く感じるので「充実させていきます」はどうか。

座長 「～本を中心に、絵本の蔵書を充実させていきます」ではどうか。

委員 児童館（２）②、「子どもに本を手渡す保護者たち」に変えた。保育園のところに親子とあるが、変えた方が良いのではないか。保育園でも祖父母だったり親子だけではないので、保護者にしてはどうか。

委員 保護者にすると、子どもが入らず、親子関係が表記されない。

副座長 児童館のところでは、親が手渡すではちょっとということで、保護者としたかと思う。「保護者たち」という言葉にいろいろな大人を含めるということで入れた。保育園の方は、子に対する大人ということで保護者とはちょっと違った意味である。

委員 確かに必ずしも親がいるとは限らない。

委員 本当は周りにいる大人と子どもたちと言いたいところだが、周りにいる大人とは？となる。ただ、親子という言い方は気になった。

座長 親子より、子どもと身近にいる大人たちの意味合い。児童館の方は保護者に直したが、①の終わりの方が親子で楽しめる本となっている。「親子」は基本的に避けた方がいいかもしれない。「保護者」というのも固い。「子どもと子どもの身近な大人」という表現はどうか。

副座長 戻るが、保育園の（１）②は「子どもと身近にいる大人たちが絵本に興味を持てるような取組をします」という形になるか。

委員 児童館の（１）①「図書環境」という言葉が固いので「場」としてはどうか。

副座長 「図書環境」を「場」に変える。「絵本の蔵書を充実させます」をあえて繰り返す。（２）①については、「親子で楽しめる本」とあるのを「子どもも大人も楽しめる本」とする。②については、「保護者たち」を「身近な大人たち」とする。最後のところはボランティアとの「と」を入れる。（３）の図書館でお気づきのところがあったら、お願いしたい。

委員 （２）⑨、予算措置は入れられないのか。

委員 予算が取れたとしても、２週間出ていける環境づくりも含めてということになった。

委員 「組織強化」はもう少し専門性を高めるというような文言にしたい。専門性とは、誰か一人が高い知識を持っているということではなく、職員集団としてみんながレベルアップして専門性を誰もが持つというのが理想だと思う。そういうことができる仕組みづくりをもう少し説明が欲しい。

委員 研修に行くということを書き、その後に行った人だけではなく、担当全体に広めて担当全体を底上げするということを書いた。表現を検討する。

委員 児童館の（１）②、蔵書の充実で「はじめまして」と「えほんだいすき」が挙げられているが、図書館の（２）⑧に詳しい説明がある。児童館の方が先ならばこちらで説明した方が読み手はわかりやすい。

委員 「はじめまして」は３～４か月児健診で配布しているが、図書館でもおすすめ絵本として配布している。

委員 今回、掲載順が保育園、児童館、図書館となった。注釈をつけるか。

委員 知らない市民にとっては、「はじめまして」のイメージもないので、写真を載せてもいいのではないか。ブックスタートをやっている写真は見たが、そういうのも入れると、読む市民もうれしいのではないか。

委員 掲載順は行政順の縛りがあるので、これでいく。ただ、絵本と子育て事業のことがあるので、図書館部分にも入る。

副座長 先に出てくる児童館部分に写真を載せ、詳細は何ページと入れればよい。

委員 併せて、児童館の（１）のところに「図書館で発行している」と追記してもよいか。写真も入れる。

委員 図書館の（１）②児童サービスの中の乳幼児へのサービスなので、乳幼児を対象としたサービスではどうか。

委員 乳幼児向けではどうか。

副座長 それでよい。小学生への取組のところもお願いしたい。

6 小学生を対象とした取組について

副座長 <小学生について>は次回、起草委員会でもんでいくので学校と児童館からコメントをいただきたい。児童館からお願いしたい。

委員 児童館は、どうしても遊び視点が入ってくる。図書館と学校図書館は近いもので児童館は別空間と思っている。取組の部分に児童館を入れると、話が複雑化してくると思うがどうか。

副座長 小学生にとっての児童館は最高にいい遊び場だと思うので、遊びの中の図書室というのは素敵な発想だと思う。乳幼児箇所と同じく、(2)③の表現を置き換える。児童館のところで聞いておきたいことがあればお願いしたい。

委員 (1)①も「図書環境」を「場」に直すでよいか。

委員 (1)②、()の中が自然・生活・芸術とあるが、物語もあるのか。あえて、それ以外の分野を充実するということか。

委員 物語は図書館や学校図書館の方にお任せしたい。児童館はマンガ等に流れる傾向にある。ここに読み物を入れるのは違う気がした。

委員 読み物はあるが、その方面に重点を置くのではなく、ということよいか。

座長 「子どもたちが生きる力」というと広がるので「子どもたちが現実を生きる力」としたらどうか。

副座長 「～現実を生きる力」と言う言葉をいただいたが、その後の文章に続けることも考え、起草委員会でもう少し考えさせていただきたい。学校のところに行きたい。学校の方で補足はあるか。

委員 (1)①今年度教科書図書の改訂があったので、まずは活用していく本の充実が求められること、2項目めは、古くなったものを買い替えていくということ、3項目めも今までやってきたことで、ここに入れている。「前計画に引き続き推進していく主な取組」はほぼ変わっていない。(2)②の2項目「図書館を見学」の「を」を「の」に訂正。(2)③読書週刊の定着は「習慣」に字を訂正。1項目「学級文庫を充実」の「を」を「の」に変更。それ以外の部分は、前回と変更なし。(1)もやっているところだが今後力を入れていくという意味で入っている。

副座長 学校のところで、質問、気になるところがあったらどうぞ。

委員 (2)①学校図書館の充実だが、読書旬間は学校の中で特別に何かやっているのか。

委員 学校によって違うが、読書週間は1週間を目途に、読書旬間は10日から2週間近くやっている。他に読書月間というものもある。

委員 週間、旬間、月間と置き換えた方がいい。

委員 学校図書館を見学させていただいて、コンピュータが学校に入りサーバーが教育委員会にあるので、どこの学校からでもデータにアクセスできるという話だったと思うが、所蔵がわかった後に例えば調べ学習で、ポプラディアをセットでたくさん欲しいという場合に物流はどうなっているのか。

委員 現状では学校図書館同士の物流はない。担当の教員や学校司書が自転車で運んだり1冊ずつ交換便に載せる等の工夫をしている。研究授業等では絶対必要なので、教員と協力してやっている。市立図書館からは団体貸出を受けて毎週木曜日に配送してもらっている。

委員 公共図書館にまず依頼する。中学校では動いてないことも多いので、全司書に優先的に依頼する。

座長 <小学生について>で「一人読みに発展し始める」が引かかる。一人読みの方が上位とあまり言いたくないので「移りわたる」ぐらいでどうか。必要に応じて、読

み聞かせに戻る、行きつ戻りつしていい。ご一考いただきたい。
今後のスケジュールを事務局からお願いしたい。

7 今後のスケジュールについて

第5回 11月12日（木）午後2時から4時 田無公民館 第2学習室

第6回 12月4日（金）午後2時から4時 田無第二庁舎 4階 会議室2
起草委員会

第2回 10月15日（木）午後2時から4時 中央図書館 会議室

第3回 11月18日（水）午後2時から4時 田無庁舎地下1階 第一会議室

次回 会議の日程 11月12日（木） 午後2時から 田無公民館 第2学習室